

## 「花めぐり」ならぬ「神社巡り」 (2018/2/13)

1月23日に予定していた花めぐり、例の大雪で中止。2月13日に1月の予定と同じく池袋に集合し新宿御苑に向かう。東京メトロ副都心線に乗り新宿三丁目で丸ノ内線に乗り換えて新宿御苑前に到着。

少し歩いて入り口に着くとなんと閉まっている。月曜日が祝日のとき翌火曜日が休苑とのこと。うっかりしててがっかりでした。

それで近くにあるという花園稲荷神社へ行くことに。途中、閻魔大王と奪衣婆(だつえば) [\*1] の銅像がある浄土宗の太宗寺(たいそうじ)を見て花園神社に着く。高いビルの立ち並ぶ中であってここだけはホッとする空間。丁度、白梅が咲いていてそこにメジロも来ていて若いカップルもお参りに来ていました。敷地内に雷電稲荷神社 [\*2] もありました。

今回は花めぐりならぬ神社巡りになりましたがお天気にも恵まれそれなりに楽しい一日でした。

\*1 奪衣婆(だつえば)：三途川(葬頭河)の渡し賃である六文銭を持たずにやってきた亡者の衣服を剥ぎ取る老婆の鬼。俗説ではあるが、奪衣婆は閻魔大王の妻であるという説もある。(from ウィキペディア)

\*2 雷電神社：源義家が奥州征伐の途中、雷雨を避けて当社で休んでいると、どこからか一匹の白狐が現れ、義家の前で三回頭を下げたところ、たちまち雷雨が止み晴れ渡ったので、里人が雷電神社と呼んだという伝承がある。  
(from <https://jinja.tokyolovers.jp/tokyo/shinjuku/raiden-inarijinja>)

写真撮影：江尻 敏子



花園稲荷神社



## 内藤新宿太宗寺の文化財

住 所 新宿区新宿2-9-2  
電話番号 03(3356)7731

太宗寺は、慶長年間初頭(1596頃)に僧太宗の開いた草庵を前身とし、のちの信州高遠藩主内藤家の菩提寺として発展した寺院です。

かつての内藤新宿の仲町に位置し「内藤新宿の間庵」「しょうづかのばあさん」として江戸庶民に親しまれた間庵像・春衣婆像や、江戸の出入口に安置された「江戸六地藏」のひとつである銅造地藏菩薩など、当時の面影をのこす多数の文化財が伝えられています。

ミニ博物館「内藤新宿太宗寺の文化財」では、太宗寺に伝えられる文化財や、内藤新宿の歴史などを紹介しています。ぜひ、ご覧下さい。

※寺務所にて、解説パンフレットを配布しています。



南参道



白梅



紅梅



太宗寺（たいそうじ）の本堂



「布袋尊像」がある「不動堂」



「閻魔像」と「奪衣婆（だつえば）」がある「閻王殿（閻魔堂）」